

北九州市水道料金等徴収業務委託 公募型プロポーザルの実施結果について

上下水道局では、水道料金等徴収業務を委託するにあたって、公募型プロポーザルを実施し、次のとおり受託候補事業者を決定したので公表します。

1 委託業務の概要

- (1) 業務名 北九州市水道料金等徴収業務
- (2) 業務内容 水道料金等に関する電話受付業務、検針業務、調定業務、収納関連業務、未納整理業務、開閉栓業務、窓口業務及びその他業務
- (3) 履行期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

2 受託候補事業者の選定方法

- (1) 選定方法 公募型プロポーザル方式
- (2) 受託候補事業者の選定

「北九州市水道料金等徴収業務委託プロポーザル方式審査委員会」（以下「委員会」という。）により選定。

【委員会 委員名簿】（敬称略）

職名	氏名
北九州市立大学 副学長	後藤 宇生
九州共立大学 経済学部 地域創造学科教授	本脇 尉勝
西本公認会計士事務所 公認会計士	西本 由佳
早稲田大学 研究院 准教授 早稲田大学 水循環システム研究所 主任研究員	佐藤 裕弥

(3) 受託候補事業者の決定

委員会の選定結果を踏まえて、上下水道局長が決定。

3 公募型プロポーザル実施結果

(1) 委員会による評価・結果及び選定結果

参加事業者名	得点	順位	備考
第一環境 ケイ・イー・エス共同企業体	354.4点 / 400.0点	1位	受託候補事業者

(2) 委員会の講評

今回、プロポーザル参加事業者は、水道料金等徴収業務において、実績のある事業者と、北九州市内に本社がある事業者で構成する共同企業体 1 事業者のみでしたが、当該事業者が受託候補事業者として相応しいかを厳正に評価しました。

共同企業体は、多数の業務経験者を配置できる履行体制や、災害発生時の対策のほか、GX（グリーントランスフォーメーション）の新たな取り組みとして、国が推進している地域脱炭素化に合致した内容が提案されるなど、適正かつ円滑に業務を遂行できる能力と信頼性が認められました。

また、共同企業体の提案から、地元雇用や地域の見守り活動など、北九州市政に貢献したいという意欲も感じられました。

以上の理由から、「第一環境 ケイ・イー・エス共同企業体」を北九州市水道料金等徴収業務の受託候補事業者に選定しました。

なお、令和 7 年度からの委託業務の実施にあたっては、構成する事業者間のみならず、発注者である上下水道局との連携に努め、共同企業体としての特性を活かしながら業務の円滑な遂行を期待します。

令和 6 年 10 月 31 日

北九州市水道料金等徴収業務委託プロポーザル方式審査委員会

委員長 後藤 宇生

(3) 決定した受託候補事業者

委員会の選定結果を踏まえ、受託候補事業者を下記のとおり決定しました。

・ 事業者名 第一環境 ケイ・イー・エス共同企業体

・ 構成団体

〈代表事業者〉

名称 第一環境株式会社 九州・沖縄支店

代表者 支店長 戸井田 一則

所在地 福岡市中央区薬院四丁目 3 番 5 号

〈共同事業者〉

名称 株式会社ケイ・イー・エス

代表者 代表取締役 飯野 一義

所在地 北九州市八幡西区東神原町 3 番 3 1 号

4 受託候補事業者決定までの経緯

年 月	実 施 内 容
令和6年 5月	○第1回プロポーザル方式審査委員会 ・公募型プロポーザル方式採用の可否 ・評価項目、評価基準、配点の決定等
6月	○プロポーザルの公募・公告（市公報・局ホームページ） ○募集要項（実施要領・仕様書）の交付（局ホームページ掲載） ○参加申込受付開始
7月	○参加事業者説明会
9月	○参加事業者から業務提案書等の提出
10月	○第2回プロポーザル方式審査委員会 ・参加事業者によるプレゼンテーション、ヒアリング ○第3回プロポーザル方式審査委員会 ・委員会にて内容を評価し、受託候補事業者を選定
11月	○委員会の選定結果を踏まえ、受託候補事業者を決定